



「よい読書習慣を身につけよう」



大平台

米沢小 学校だより
平成26年度第18号
11月07日(金)発行

今まで読んだ本の中で一番印象に残っている本は何ですか。その本のどこがよかったですか。こんな質問を高校や大学入試就職試験の面接で聞かれるそうです。もしあなただったら何と答えますか。たくさんありすぎて困りますか。それとも、そんな本にはまだ出会っていませんか。私が小学校の時の印象に残っている本は、全校集会で話しましたが「シートン動物記」と「十五少年漂流記」です。もしよかったら一度読んでみてください。

文部科学省では、「国語力を身に付けるための読書活動の在り方」の中で、「読書の重要性」について、次のように述べています。読書は、人類が獲得した文化である。読書により我々は、楽しく、知識が付き、ものを考えることができる。また、あらゆる分野が用意され、簡単に享受でき、しかもそれほど費用が掛からないという特色を有する。読書習慣を身に付けることは、国語力を向上させるばかりでなく、一生の財産として生きる力ともなり、楽しみの基ともなるものである。読書の習慣を幼いころから身に付けることが大切であるが、ここでいう読書とは、文学作品を読むことに限らず、自然科学・社会科学関係の本や新聞・雑誌を読んだり、何かを調べるために関係する本を読んだりすることなども含めたものである。国語力との関係でも、読書は、国語力を構成している「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」「国語の知識等」のいずれにもかかわり、これらの力を育てる上で中核となるものである。特に、すべての活動の基盤ともなる「教養・価値観・感性等」を生涯を通じて身に付けていくために極めて重要なものである、としています。

11月の生活目標は「よい読書習慣を身につけよう」です。決まった読書は朝自習の時間に水曜日の1日行ってきましたが、それが今月は毎日です。どんな本を読もうか迷ったのではありませんか。せっかくだから、たくさんの文字やページがある本に挑戦してみてもいいでしょう。もちろん図書室の本でかまいません。また、自宅にある本でもいいし、この機会に書店に行って読みたい本を探すのもすばらしいと思います。

作家の水上勉は、郷里の福井県に『若州一滴文庫』を造り、子どもたちにメッセージを残しています。「この中の1冊から、何かを拾って、君の人生を切りひらいてくれたまえ。たった一人の君に開放する」。さすが有名作家の言葉だと思いました。

米沢小の図書館で選んだ本や書店で買った本が、あなたにすばらしい出会いをさせてくれたら最高です。では、私も1冊読むことにしましょう。



五年生の発表

十一月の全校集会



賞状伝達と保健環境委員会の発表

大平台フェスティバルと親子レク大会

1日(土)に毎年恒例の大平台フェスティバルと親子レク大会を実施しました。

大平台フェスでは米沢地区を中心に大勢のお年寄りが来てくださり、子どもたちに昔遊びを演しながら教えてくれました。竹とんぼやお手玉、わら草履や缶ぽっくりなど、子どもたちは教



わり、一緒に遊びました。お年寄りの皆様の表情を見ていると、けがをさせないように気をつか
いながらやってあげるのではなく、子ども自身にほとんどを作らせることで、上手にできなくて
も、自分で作ったもので遊ぶ楽しさを、上手に教えてくれたように思います。作ったものを、大
事そうに持って帰る子どもたちの姿を見ると、こんな体験が学校では足りないんだと感じまし
た。その後、町音楽会で披露した合唱や楽器演奏を行いました。お年寄りの喜んだ表情を見てい
ると、子どもたちからも元気をあげられたかなとうれしくなりました。一緒に食べたおにぎりや
豚汁はすごくおいしかったですね。健康に十分気をつけていただいて、また来年もよろしくお願
いします。ありがとうございました。

親子レクは、残念ながら雨模様だったので、外のゲームを計画をしていたのですが、昨年につ
き続き体育館での実施になってしまいました。でも、じゃんけんジェンガやボールを渡し合うゲ
ームを行いました。とてもほほえましく、楽しく行うことができました。このレク大会は、成
人委員の皆さんが中心になって計画から実施まで行っているのですが、親子の仲のよさがよく分
かるゲームばかりですばらしかったと思います。そして、何よりすごいのは、ほとんどの家庭の
家族の皆さんが参加していただいたということです。米沢地区のようにまとまっている地区はほ
かにはないと思います。参加した皆様お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

地域の方々がこれほど参加する行事はなかなかありません。米沢小学校のすばらしい伝統の1
つです。学校としても、これからも続けて行きたいと熱望しておりますので、今後ともご協力の
ほどよろしくお願いいたします。



(編集後記)

月めくりの暦も残すところ2枚になり、月日がたつのが早いと感じているのは私だけでしょうか。子ども
たちにならい、年始めに今年の目標を立てたのですが、案の定、くじけてしまいました。だからどうし
たではないのですが、自分の意志の弱さにあきれてしまいます。3日の文化の日に文化勲章の親授式があ
りましたが、どの顔ぶれを見ても、自分を信じてやり続ける偉大さを感じます。また、受章後の言葉を聞
くと「これからも一層精進してまいります」と答えており、生涯学ぶ姿勢のすごさを感じました。この間
のノーベル賞の時も思ったのですが、子どもの頃の経験がその後の人生に大きな影響を与えていること
が多いような気がしました。これからも大平台フェスティバルや親子レク大会をはじめ、米沢小学校の子
どもたちに様々な体験をさせて行きたいと思います。それが、子どもたちの生きる力につながるように。